

貴州省人材育成事業（円借款）



案件位置図

- 貴州大学
- 貴州師範大学
- 貴陽医学院
- 遵義医学院
- 貴陽中医学院
- 貴州財経大学
- 貴州民族大学

1. 本事業の支援内容（円借款貸付額：45.26 億円）

- (1)校舎の建設：計 185,920 m²
- (2)教育・研究設備の購入：例 ネットワーク情報設備等の教育機材
- (3)教職員の訪日研修：319 人

本事業で建設した貴州財経大学
学術交流センター（下記 3.(3)参照）

2. 本事業による日中大学間の交流

- (1)大学間連携：貴州大学と佐賀大学（協定締結、学術交流、論文執筆）
- (2)日本語学科の設置：貴州財経大学¹
- (3)博士号取得：佐賀大学（貴州大学より4名）²

3. グッドプラクティス

- (1)貴陽中医学院では、上記 1.の訪日研修中、教員が富山大学で和漢薬の研究を行った。帰国後、中国少数民族が使用する伝統薬による研究を行い、日本で学会発表や特許申請をしている。
- (2)遵義医学院では、上記 1.の訪日研修後、教員が熊本大学にコンタクトし、冬期休暇を利用して同大学にて、「高親和性抗体の産出する分子の仕組み」という研究を完成させた。
- (3)貴州財経大学で整備した学術交流センターは貴州省税務幹部の研修センターに指定され、毎年能力向上研修を行っている。

¹ なお貴州財経大学では、「貴州省日本語教育研究会」も設立している。

² 具体的な数値は不明だが、貴州大学以外にも、訪日研修に参加した講師が、さらに自己資金や奨学金により訪日研修先の大学に留学し、博士号を取得しているケースが各対象大学に何名かいるとの報告があった。